

第1問 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

著作権の都合上、

この部分をご覧いただけません。

問一 「A」～「F」の箇所当てはまる文もしくは文章をそれぞれ次の中から選び、その番号を記せ。

- (1) 大きなテーマを考える際は幅広い視点と知識を集めるのが理想だが、通常の業務のなかでは難しい。
- (2) ビジネスへの直接的な効果を測りにくくこれまで進んでこなかったが、事業や企業の成長に寄与するとの考え方が広まりつつある。
- (3) 機能だけではなく使ったときの感情といった情緒的価値の重要度が高まっているが、人がいつどのように心が動くのかはインタビューやアンケートでは見えにくい。
- (4) 実は消費者行動と文化人類学の歴史は古い。
- (5) ビジネスパーソンが教養として人文知を学ぶ重要性はこれまでも言われてきた。
- (6) 調査対象者のなかに入り込む参与観察など文化人類学の手法を使った消費者調査やコンサルティングを手がける。

問二 文化人類学の「参与観察」手法を用いた消費者調査とは、どのような方法か。他の調査方法と比べてどのような利点があるかに触れながら、百字以上、百二十字以内で説明せよ。

問三 企業が「人文知研究所」を設立することは、企業経営にどのような影響を与えらるかと考えられるか。八十字以上、百字以内で説明せよ。

問四 次の各文について、文中より読み取れるものに○、読み取れないものに×をつけよ。

- (1) 文化人類学の手法は、消費者の行動や感情を深く理解するために有効である。
- (2) 参与観察では、調査者自身の主観を交えることも重要な要素である。
- (3) 文化人類学的手法は、消費者の感情の動きを数値データとして分析することを目的としている。
- (4) 参与観察において調査者は、対象者の生活に入り込み、無意識的な反応にも注目する。
- (5) 参与観察を行うことで、一見理由の分かりにくい消費者の行動にもその背景にシンプルな理由を見出すことができる。

問五 傍線①～⑩の片仮名は漢字に、漢字は平仮名にそれぞれ直せ。

国語試験問題は次ページに続く

第2問

次の文章を読んで後の問いに答えよ。

著作権の都合上、  
この部分をご覧いただけません。

〔佐藤一磨 「共働きが加速すれば男も女も幸福度が上がる」世界23カ国調査で判明した男女格差と幸せの意外な関係」ポジションの奪い合いで男性がかわいそう」は大間違い』PRESIDENT Online』2024年10月11日〕

問一

- 「A」～「F」の箇所に当てはまる文もしくは文章をそれぞれ次の中から選び、その番号を記せ。
- (1) 実は近年、この点に関する研究が進み、興味深い結果が明らかになっています。
  - (2) この中で、1986年には「男女雇用機会均等法」が施行され、1999年にはさまざまな面における男女の平等を目指す「男女共同参画社会基本法」が施行されています。

(3) 男女間格差が縮小し、女性が労働市場でより活躍するようになると、女性の経済力が向上します。

(4) このため、日本でも男女間格差の縮小のための施策をより強く実施していくことが重要です。

(5) これらの4つの指標は定義が異なるものの、いずれも男女間の不平等度を数値的に把握した指標となっています。

(6) 現在、さまざまな面における女性の地位が男性よりも低くなっており、これが解消されれば、女性の幸福度の向上につながる可能性が高いでしょう。

問二

二重傍線ア「しかし、日本の男女間格差はなかなか解消していません。」とあるが、日本ではどの様な点で男女間格差が解消されておらず、改善が求められると述べられているか、文中より六十文字以上八十文字以下でまとめ、答えよ。

問三

二重傍線イ「男女間格差の縮小は、社会を構成する男女両方の幸福度を高めていきます。」とあるが、それまで男性が占めていた社会的地位を明け渡すにもかかわらず、なぜ男性においても幸福度が高まると言えるのか、筆者の考えを文中より八十文字以上百文字以下でまとめ、答えよ。

問四

次の(1)から(5)の文について、文中より読み取れるものに○、読み取れないものに×をつけよ。

- (1) 男女間格差が小さくなることによる幸福度の改善は、男性よりも女性の方が大きい。
- (2) 日本の男女間格差指標の値は、全世界の中で平均より下である。
- (3) 男女間格差がなくなることによって男性に不満がでることはないことが分析結果で分かった。
- (4) 日本における男女間格差は、政治や経済面を除けば解消が進んでいると言える。
- (5) 女性の経済的地位向上は、女性の幸福度を高める。

問五

傍線①～⑩の片仮名は漢字に、漢字は平仮名にそれぞれ直せ。